

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 1月 15日

事業所名 ぼとと 保護者等数(児童数) 57名 回収数 44名 割合 77 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38	6				標準的広さは約16㎡で、東京・大阪は30㎡です。ぼととは児童支援室63㎡に加えて遊戯室98㎡があります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	33	5	1	5		法令に定められた職員で対応していますが、今後は増員して手厚い支援を提供したいと考えています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	11	2	8		バリアフリー化は難しいですが、環境調整を継続して、過ごしやすい環境を整えていきます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	41	1		2		保護者のニーズを確認しながら、今後も標準化された評価を行い、客観的データを基にサービス計画を作成していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	38	1		5		定期的なカンファでの個別支援の検討を行っています。また、集団活動では職員のアイデアを採用できるように、アイデアを提案する機会を増やしていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	10	3	15		今年度は、学童の夏祭りに参加しています。今後も積極的に参加していきます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43	1				今後も契約時や面談時に丁寧な説明を心がけます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	2	1		普段の困りを連絡帳に書いても、返事はなくその日の行動を書かれるだけの日が何度かあった。専門的知識があって、児の特性に合わせた対応法を分かかっていないと難しいと思う。医療系、保育の資格を持っているだけでは難しい。発達障害の知識がなければ、保護者から質問がないのは、保護者が、児の特性を意識していない場合もあるので、療育の意味、児にとっての必要性を理解してもらい、ぼとと・家庭・園等で特性に合わせた対応をするようにして、児の支援をしていくことが大切と思う。困った時の相談先として、家庭にとっても、園にとっても大切な場所だと思っているので。	送迎時に直接面談できる家族は限られています。そのため、ノートに記載、電話連絡をまめに行っていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	41	2	1		・ぼととからの言葉で助けられる事が多々あり、客観的な意見を言ってもらえるので、ありがたい。 ・相談に乗っていただき、毎回助かっている。 ・専門的な助言がとても参考になっている。	困り事に対しては、理事長にその都度確認し、ノートに記載又は理事長から説明を行っています。職員間でも情報共有するようにしていますが、送迎時の当日の伝え等、詳細に状況説明をしていく工夫をしています。(状況を知っている職員が送るなど)また、家族からの情報も得るように、コミュニケーションを図るように取り組んでいきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27	7	3	7		昨年、父の会を開催し、交流が図れたので、引き続き行っています。また、母の会も(コロナ落ち着き次第)取り組んでいます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	5		8		今後も現体制を維持しながら、迅速に保護者からの苦情等に対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	2		2 (無回答1)		連絡帳、ラインオフィシャルを活用していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	5	1	3	あまり、ホームページを見ていない。	HPの更新を継続するとともに、ラインオフィシャルを利用して、行事予定を周知したりと、新しい連絡体制を構築していきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	42	1		1		より日頃から意識を高めて配慮していきます。現在は年1回研修実施しています。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	40	2		2		HPへの掲載を周知し、今後も面談時に伝えていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	2		13		定期的に、実施しています。実施後はHPにて報告を行っています。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	42	2				引き続き子どもたちが楽しんで通所できるように、取り組んでいます。
	18 事業所の支援に満足しているか	41	2		1	・野外活動が減った。	リスク管理を高め、細かく計画内容を決めて実施していきます。(点呼・職員配置など)

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。